

議会だより

かみやま

第 37 号

2018. 5. 15

3月定例会



<ゆうかの里桜まつり>

町長の諸般報告、所信表明	3 頁
平成30年度当初予算	4 ~ 7 頁
補正予算・条例の一部改正等	8 ~ 10 頁
3月定例会 一般質問	11 ~ 13 頁

3月定例会は、平成30年3月7日から19日まで、13日間の会期で開催した。
 前年度より1億6600万円増となった平成30年度一般会計予算を中心に平成29年度補正予算の
 ほか条例の一部改正など24議案を審議し、全議案原案のとおり可決した。

一般質問では3議員が登壇しそれぞれ町の考えを質した。(11～13頁に掲載)

日	平成30年3月定例会議案事項	掲載頁	
第1日	諸報告	3頁	
	町長から所信表明		
	平成29年度一般会計補正予算(第6号)について 平成29年度特別会計補正予算について (国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療) 上程・審議・可決		8～10頁
第2日	平成30年度一般会計予算について 上程・審議保留	4～7頁	
第6日	平成30年度特別会計予算について (国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療) 上程・審議保留	4～7頁	
	条例の一部改正について等 11件 上程・審議保留	8～10頁	
	辺地総合整備計画 2件 上程・審議保留		
第8日	一般質問 西崎哲夫議員 森本吉治議員 佐出由恵議員	11～13頁	
第13日	平成30年度一般会計予算について 平成30年度特別会計予算について (国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療) 審議・可決	審議・可決	
	条例の一部改正等 11件 審議・可決	審議・可決	
	辺地総合整備計画 2件 審議・可決	審議・可決	
	大埜地集合住宅 基盤整備工事請負変更契約の締結について 上程・審議・可決 その他(議員派遣・委員会の閉会中の継続調査) 上程・決定	上程・決定	

※第3日・第7日・第9日・第10日は議事都合、第4日・第5日・第11日・第12日は休日により休会とした。

町長の諸般報告、 所信表明

平成30年度の予算並びに事業計画について

近畿神山会開催

2月11日、大阪市内で第27回近畿神山会総会が開催され、100人余りが出席し楽しいひと時を過ごした。4月1日、桜の時期にふるさと訪問を予定している。

(仮称)森林環境税、 森林環境譲与税創設へ

与党による平成30年度税制改正大綱が示され、次期通常国会において森林関連法案の見通しを踏まえ、平成31年度に税制改革において2税を創設することが決定。成立後の受け皿整備に心がけ県と連携しながら、施工されると同時に実施できるように準備をしていきたい。

念願の新阿野橋開通となる

90年間広野、五反地地区を結んできた阿野橋が老朽化のため、3年の工期を終え、新しく架け替えられ、3月17日に開通

式を迎える。

動物愛護センター 譲渡交流拠点施設オープン

阿野橋開通式と同じ日の3月17日、動物愛護センター敷地内にオープン。犬、猫の殺処分ゼロを目指し、動物愛護精神の高揚、啓発に資するものとオープンを期待している。

新年度事業からの要点

ここ数年の公共施設の耐震工事、防災無線の更新、給食センターの建替え工事等の事業が終了し、本年度から建築物の非構造部材の耐震化事業を進めていきたい。

給食費の無償化

学校給食費は小中学校1食あたり280円、310円を徴収しているが、子育て支援を図るべく無償化に踏み切る。保育所の給食費（主食）についても無償化とする。

防犯灯のLED化

町管理の防犯等の内、広野地区にある85基を29年度に交換。今年度、他の地区の765基程度を順次LED防犯等に交換していく予定。

集落支援員制度の取り入れ

本年度の新たな取り組みとし

て、国の集落支援員制度を取り入れ、上分公民館に1〜2名配置したいと考えている。

地域集落の点検、集落対策のあり方や集落のさまざまな困りごとなどを地域の方、集落支援員、役場が一体となって考え必要となる施策の構築を図りたい。本年度は高齢化率が高い上分地区に配置し、効果などを検証し町内他地区への展開を進めていきたい。

国際交流プロジェクト事業

本年度も、町内の中学生、高校生に夏休みを利用し、オランダへの短期訪問事業を実施。10名程度の参加者を募集する。

地方創生事業

本事業は5年計画の3年目となり、現在2戸一の集合住宅2棟とエネルギー棟1棟を建築中だが、来年度も予定している住宅の建築を順次進めていきたい。

運転免許の自主返納へ 免許証の返納者に特典を

のらんでタクシーの助成、また町営バスの回数券を1人5,000円を、来年度からは徳島バスを利用される方にも同額の助成をする。自主返納者は

26年は2名、27年は8名、28年は14名、29年度は38名と急激に増加している。

簡易水道事業

施設の老朽化、災害時の対応を含め、衛生的で安全な水を供給すべく、引き続き配水管布設替工事を進める。広野簡易水道では新しくろ過施設の整備工事を計画。

林業、林道関係

森林境界の明確化事業は、早急に進めて行く必要がある、来年度は下分喜来谷、上分有懸両地区を実施。

林道関連、林道加仁輪線は延長663メートルを4年計画で、林道奥屋敷線は延長3100メートルを10年計画で予定している。

神通滝遊歩道の新設

現在の遊歩道が危険であり、維持補修が大変な作業となっており、対岸に遊歩道の新設工事を計上している。

道の駅 改修工事

開所以来、大きな改修もされずそのままのため、利便性や、施設の有効利用の観点から改修工事に向けての設計料の予算を計上。

平成30年度当初予算

一般会計	44億1900万円 (3.9%増)
国民健康保険特別会計	7億9784万円 (21.1%減)
簡易水道事業特別会計	3億3059万円 (57.6%増)
介護保険特別会計	10億0514万円 (7.1%減)
後期高齢者医療特別会計	1億2439万円 (0.8%減)

当初予算合計 66億7696万円

平成30年度予算の主な内容			
総務課	・ふるさと納税業務委託料 ・神山温泉基金積立金	205万円 2000万円	
	・部落会長報酬196人 ・LED防犯灯電柱取替工事	483万円 3240万円	
	・集落支援協議会補助金(上分) ・元気づくり事業助成金	50万円 165万円	
	・自動車運転免許自主返納報償 ・地方創生推進交付金事業業務委託料	20万円 1億円	
	・お試し住宅整備補助金 ・寄井西住宅新築工事	2500万円 8700万円	
	・大埜地集合住宅建設工事 ・消防詰所格納庫新築工事(歯の辻)	1億8000万円 1500万円	
	・消防団運営交付金 ・消防備品購入費	600万円 167万円	
	・小型動力ポンプ購入費(2台) ・名西消防組合負担金	237万円 1億2671万円	
	住民課	・町営バス運行委託料 ・地方バス生活路線維持費補助金	2190万円 100万円
		・結婚祝金(1年以上在住10件) ・戸籍総合システム保守委託料	100万円 326万円
・火葬委託料(140件) ・合併処理浄化槽設置整備事業補助金(15基)		455万円 577万円	
・阿北環境整備組合負担金 ・紙おむつ処理委託料		1334万円 381万円	
・生ごみ処理委託料 ・老朽危険空家除去支援事業補助金		105万円 240万円	

平成30年度予算の主な内容

住民課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放置空家除去支援事業補助金 120万円 	
税務保険課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民健康保険特別会計繰出金 7191万円 ・ 後期高齢者医療広域連合事務費負担金 851万円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金 1億3000万円 ・ 後期高齢者医療特別会計繰出金 5996万円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地籍調査事業委託料（4地区） 8580万円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○国民健康保険特別会計 ・ 一般被保険者療養給付費 4億8000万円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退職被保険者等療養給付費 200万円 ・ 一般被保険者高額療養費 8400万円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産育児一時金（4名） 168万円 ・ 健康診査等委託料 458万円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診委託料負担金 325万円 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者医療特別会計 ・ 後期高齢者医療広域連合納付金 1億1162万円 	
	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センター業務委託料 300万円 ・ 町内高齢者等神山温泉使用料（差額分） 550万円
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者路線バス定期券購入費助成事業補助金 55万円 ・ 町社会福祉協議会補助金 1649万円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会開催負担金 377万円 ・ 介護保険特別会計繰出金 1億8283万円 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度心身障害者等医療助成費 2744万円 ・ 障害者自立支援介護給付費 1億5030万円 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動支援センター事業補助金 246万円 ・ 高齢者等タクシー利用助成事業委託料 750万円 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童手当費（中学校まで295名） 3992万円 ・ 放課後児童クラブ運営委託料 1367万円 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども子育て支援事業計画策定業務委託料 200万円 ・ 子育て支援補助金 120万円 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人保護施設措置費 1億2515万円 ・ 救急医療対策費補助金 303万円 		

平成 30 年度 予算 の 主な 内容

健康福祉課	・子どもはぐくみ医療助成費（高校生まで）	1224万円
	○介護保険特別会計	
	・居宅介護サービス給付費	2 億3118万円
	・施設介護サービス給付費	4 億3760万円
	・居宅介護サービス計画給付費	3107万円
	・地域密着型介護サービス給付費	5496万円
	・高額介護サービス費	2100万円
産業観光課	・特定入所者介護サービス費	5125万円
	・介護予防サービス給付費	2794万円
	・避難所緊急安全対策改修工事	1715万円
	・移住者支援空家改修補助金	300万円
	・すだち消費宣伝用果実代	100万円
	・農作物被害対策施設整備補助金	300万円
	・中山間地域等直接支払交付金（13集落）	975万円
農業課	・農業次世代人材投資資金交付金（6名）	900万円
	・すだち冷蔵庫導入事業補助金	50万円
	・農山漁村未来創造事業補助金	246万円
	・有害鳥獣駆除報償金	876万円
	・有害鳥獣捕獲狩猟免許取得等補助金	57万円
	・町有林搬出間伐業務委託料	986万円
	・森林境界の明確化業務委託料	1125万円
観光課	・森林施業集約化支援交付金	327万円
	・神山町森林整備担い手育成事業補助金	210万円
	・神通滝遊歩道新設工事	3500万円
	・鮎喰川 PR 事業補助金	100万円
	・4K とくしま映画祭負担金	100万円
	・道の駅指定管理者業務委託料	330万円
	・若者定住支援住宅新築等補助金	800万円
観光課	・神山町空家利活用改修事業補助金	200万円

平成30年度予算の主な内容

建設課	・簡易水道事業特別会計繰出金（公債費充当）	2490万円
	・簡易水道事業特別会計繰出金（事業費充当）	7851万円
	・県単林道工事	1000万円
	・道路防災点検業務委託料	1000万円
	・町道維持工事	3000万円
	・橋りょう点検業務委託料	2400万円
設	・道路改良舗装工事	6900万円
	・耐震改修事業補助金	260万円
	・現年発生公共土木施設災害復旧工事	7300万円
課	○簡易水道事業特別会計予算	
	・水質検査手数料	285万円
	・中央配水管布設替工事 ・広野区域ろ過施設建設工事	2976万円 1億6882万円
教育委員会	・農村環境改善センター等指定管理者業務委託料	1422万円
	・通学費補助金	250万円
	・小中学校入学準備助成金	159万円
	・城西高校通学費補助金	300万円
	・奨学資金貸付金	1224万円
	・若者定住応援基金積立金	156万円
	・スクールバス委託料	2029万円
	・学校管理委託料	123万円
	・体育館改修工事（阿川）	455万円
	・プール改修工事（広野・神領）	1109万円
員会	・教材教具実験実習材料費	333万円
	・神山町国際交流プロジェクト委託料（オランダ）	743万円
	・公民館指定管理者業務委託料（上分）	532万円
会	・給食調理・配送業務委託料	1277万円
	・給食材料費	1492万円
その他	・公債費	3億6413万円

補正予算・条例の一部改正等

平成29年度補正予算

一般会計（第6号）	補正額	1億3004万円（50億1322万円）
国民健康保険特別会計（第4号）	補正額	189万円（11億302万円）
簡易水道事業特別会計（第2号）	補正額	△100万円（2億1162万円）
介護保険特別会計（第3号）	補正額	△1億80万円（10億4064万円）
後期高齢者医療特別会計（第2号）	補正額	21万円（1億2582万円）

予算合計 補正額 3034万円（74億9432万円）

（ ）は予算総額

補正予算・条例の一部改正等の主な内容	
総務課	平成29年度一般会計補正予算（第6号）
	・市町村総合事務組合負担金 353万円
	・減債基金積立金 245万円
	・ふるさと振興基金積立金 289万円
	・寄井西住宅新築工事 △8000万円
	・名西消防組合負担金 △143万円
住民課	神山町特別職で非常勤のものの報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について
	大埜地集合住宅 基盤整備工事請負変更契約の締結について
住民課	平成29年度一般会計補正予算（第6号）
	・地方バス生活路線維持費補助金 △57万円
	・火葬委託料 32万円
	・紙おむつ処理委託料 16万円
	・生ゴミ処理委託料 △100万円
	神山町営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正について
神山町営住宅設置及び管理に関する条例及び神山町単独住宅設置及び管理に関する条例の一部改正について	

補正予算・条例の一部改正等の主な内容

税 務 保 険 課	平成29年度一般会計補正予算（第6号）		
	・国民健康保険特別会計繰出金	189万円	
	・地籍調査業務委託料	△647万円	
	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		
	・一般被保険者療養給付費	△1061万円	
	・特定健診委託料負担金	30万円	
	・前年分療養給付費負担金返納金	1173万円	
	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
	・後期高齢者医療広域連合納付金	15万円	
	・保険料還付金	6万円	
神山町国民健康保健税条例等の一部改正について 神山町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について			
健 康 福 祉 課	平成29年度一般会計補正予算（第6号）		
	・介護保険特別会計繰出金	△1537万円	
	・病児病後児保育広域利用推進事業負担金	12万円	
	・未熟児養育医療費等負担金償還金	11万円	
	平成29年度介護保険特別会計補正予算（第3号）		
	・居宅介護サービス給付費	△1500万円	
	・施設介護サービス給付費	△5970万円	
	・地域密着型介護サービス給付費	△1450万円	
	・特定入所者介護サービス費	△325万円	
	・介護予防サービス給付費	△600万円	
	神山町介護保険条例の一部改正について		
	神山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部改正について		
	神山町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正について		
	神山町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について		
	神山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		

補正予算・条例の一部改正等の主な内容	
産業観光課	平成29年度一般会計補正予算（第6号） ・農山漁村未来創造事業補助金 △400万円 ・森林施業集約化支援交付金 △550万円 ・若者定住支援住宅新築等補助金 △450万円 ・神山町空家利活用改修事業補助金 △200万円
建設課	平成29年度一般会計補正予算（第6号） ・簡易水道事業特別会計繰出金（事業費充当） △155万円 ・現年林道災害復旧工事 △4454万円 ・現年発生公共土木施設災害復旧工事 △7930万円 平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号） ・水道料金システム導入業務委託料 △201万円 ・中央配水管布設替工事 △209万円 ・広野ろ過施設建設工事設計業務委託料 △358万円
教育委員会	平成29年度一般会計補正予算（第6号） ・奨学資金貸付金 △456万円 ・若者定住応援基金積立金 5019万円 ・小学校体育館床修繕工事 △70万円 奨学資金貸付条例の一部改正について

平成30年

名西消防組合協議会

第1回定例議会は3月2日石井町役場議場で開催された。

本定例会では議案2件を審議し、原案どおり可決した。

議案第1号

名西消防組合消防事務手数料条例の一部を改正する条例について

議案第2号

平成30年度名西消防組合一般会計当初予算について

平成30年度一般会計予算、歳入歳出それぞれ4億3807万8千円とする。

内訳

神山町負担金

1億2671万4千円

石井町負担金

3億0315万9千円

その他収入 820万5千円



一般質問



西崎哲夫 議員

① 高齢者のサプリメント、健康補助食品等の実態把握と指導について。 ② 国道町道のポストコーンの経年劣化による更新について。

答弁 (健康福祉課長)

いる。

(イ) 町や団体で開催する、予防

教室、健康教室などや、保健

師、栄養士による個別訪問等

に於て、バランス食や野菜の

摂取等々の説明を例年実施し

ており、その中でサプリメント

ト、健康補助食品等の摂取に

ついては、メリットもあれば

デメリットもあり個人によっ

て効果がまちまちであるた

め、過剰摂取にならないよ

う、指導している。

(ロ) アンケート調査等による、

実態把握については、この類

いの物は、栄養機能食品(サ

プリメント)、ドリンク類、

特定保健用食品、機能性表示

食品、医薬部外品等種類が多

く販売方法も多岐にわたって

おり、実態把握は難しいとこ

ろもあるが、出来るところか

ら対応していきたいと考えて

質問①

(イ) サプリメント、健康補助食

品等の過剰摂取は、高齢者家

庭の家計の圧迫となっている

例もあるようだ。正しい使用

の見解や指導が必要ではない

か。かつて徳島保健所の先生

から指導を受ける機会があっ

た。健康は毎日の食事や適当

な運動や生活習慣の見直し

等々で対応するのが本来基本

であり、サプリメントや健康

補助食品に最初から依存する

のは正しいとは思わないとの

ことであった。

(ロ) 高齢者の集える機会を介し

て摂取実態の把握も必要でな

いか。

質問②

国道や町道の路面各所に設置

してある、ポストコーンの経年

劣化破損状況の把握と更新につ

いて。

ほとんどの箇所では色(紅白)

の退色で夜間、雨の時の確認が

しづらい。破損の頻度も高く車

両の通行にも支障が生じている

箇所もある。

答弁 (建設課長)

県が管理している国道のポ

ストコーンの経年劣化による破

損については、傷みの甚しいもの

が多数あった。全体で50本程度

あり、その内20本程度の破損が

あった。ポストコーンは視線誘

導の目的があり、交通事故を防

ぐ目的がある。ポストコーンは

ガードレール等と違い経年によ

り破損したり、退色劣化する。

定期的な取替更新は、議員指摘

のとおりしなければならぬ。

国道の破損劣化箇所について

は、更新の処置を徳島県東部県

土整備局に要望したいと思う。

一応問い合わせているが詳細に

調査し、更新等の必要がある箇

所については、時期は未定だが

対処することであった。



寄井旧道と国道の出会い箇所



下分西稲原旧道と国道の出会い箇所

一般質問



森本吉治 議員

① 法定外公共物の維持管理をどのようにしているか ② 地区集会所の維持補修について

質問①

法定外公共物（赤線（里道）、青線（水路））の維持管理については、通常地元住民が行っているのが現状ではないかと思われる。

しかしながら、最近の少子高齢化、過疎化により維持管理がままならなくなってきたり、今後の維持補修にも限界が感じられるなか、行政としての関わりをどう考えていくのか。

答弁（建設課長）

青線、赤線については、河川法、道路法などの管理に関する法律が適用されない公共物である。以前は国有財産であったが、平成15年11月までに町に贈与され法定外公共物として町が管理している。しかし、昔から青線、赤線は生活道路、農業用

の水路や農道として利用され、地域の人たちにより造られた公共物であり、地域に密着した形で公共の用途に使用されているため維持補修は地元をお願いしている。しかし自然災害を受けた場合、災害復旧事業に係る条件を満たせば災害申請をしている。農地・農業用施設災害については地元負担金を頂き補修している。青線でも2戸以上の関係があれば農地・農業用施設災害、小さな被害は単独災害復旧工事で申請している。

赤線についても条件を満たせば農地・農業用施設災害、また単独災害で申請している。赤線と町道が重用している場合



地元で管理されている赤線(里道)

質問②

町内各地に多くの地区集会所がある、どこも築30、40年経過し傷みも出始める時期となっているが、小さな修繕は地域で出来るが、雨漏りなどの大きな修繕は地域住民には負担割が大きくなり厳しい現状である。町として修理などの補助金制度があるのか。

また、住民の要望で数多く造られた集会所も今では人口減、高齢化で維持管理も大変な時期を迎えている。折角造られた集会所の利用率も悪くなっている。最終局面での集会所の維持をどうすべきと考えているか。

答弁（総務課長）

集会所（神山町多目的集会所）は消防詰所を兼ねた施設を合わせると48施設ある。当時は地元からの要望で負担金や分担金を頂き、競って建築されたようである。昭和50年代の建築が多く、建築後30～40年経過している。修繕費の補助について、昭和56年度より施設の改築費等に関する補助金制度が出来ており、増改築は3分の1補助で100万円を限度に、畳の張替え新調などは29年度より3分の1補助で20万円限度とした制度を設けている。30年度では増改築補助を2分の1と増額している。補助金制度を利用していただき永く利用してもらいたい。

答弁（町長）

極度の人口減少に陥った場合の維持管理をどうするか。

神山町将来の人口を思うと本当にあり得るが、地域の人々によって維持していただけない人口状況にもっていかないといい。しかし国全体人口の縮み傾向の中、判断は難しい。やむをえない場合廃止も考えられるが、そうしたことにならぬよう手法を練っていきたい。



長谷集会所

一般質問



佐出由恵 議員

質問①

数々の問題が新聞報道され当初の会社との契約は中止となり財源も変更されながら、責任の所在も明確にされず行われた経営診断結果はどのようなものになっているのか。

答弁（産業観光課長）

29年4月に東京都の(株)ホテルアプレイザルと270万円で契約し11月30日に業務が完了した。182頁の調査報告書が提出され、国内や県内のホテル市場の動向、聞き取りや調査員が宿泊しての調査、収支分析及び長期的な事業計画の報告を受けた。

調査内容については、宿泊の

① 神山温泉の経営診断結果について ② 鮎喰川断層について

需要は人口減少による客層の変化はあるが、観光地としての潜在能力は高いとある。中長期的な計画として3案の概算の増築計画が出されているので、これを利用して利用客の増減に対応できる施設にしていきたい。

再問

報告書には、3案の改装及び増室があり、あまりにも高額で現実的ではないと感じるが、人材確保など当てはまるものについては積極的に活用するよう希望する。

望する。

答弁（町長）

建設より年月が経過し、空調施設や畳の取り換えなどの修繕によって現在の状況となっている。観光や町民の福祉保養施設として如何に継続的に運営していく基礎として必要だった。3案の改装計画案はあくまでも参考であり、内容の価値は非常にあった。

質問②

鮎喰川断層が甚大な被害をもたらした断層周辺では震度6強が想定されているとの新聞報道があったが、町として家具の転倒防止金具の助成以外にどのような対策がなされているのか、あるいは新たな対策を考えているのか。

答弁（町長）

江戸時代や昭和の南海地震で



鮎喰川断層震度分布図
(徳島県ホームページより)

再問

ソフト面から防災を考え進めていると理解した。官民あげて対策を講じ安心安全に暮らせる町作りを要望する。

の被害がなかったことから、町民は地震に対する備えや考え方は非常に甘いと考ええる。食料等の備蓄、また、救急医薬品は特に町内の病院に依頼して備蓄してあり、テントも50張り購入した。命を守るといふ観点から、瞬時の行動や意識を高める啓発活動等々進めて防災計画を練り直し、気を引き締めて対応する。

町村議会議員研修会に 参加して

去る3月5日、勝名地区町村議会議員研修会が開催され、阿波古事記研究会の三村隆範副会長より「勝名地区を中心とした阿波の古代史について」と題しての講演を聞いた。

和銅5年（712年）に編纂された日本最古の歴史書である「古事記」には、「神話」と言われている「上つ巻」、「初代神武天皇」第15代応神天皇「まで」の「中つ巻」、「第16代仁徳天皇」第33代推古天皇の「下つ巻」の三部構成となっている。その中の「上つ巻」には、「伊邪那岐神」と伊邪那美神の国生み、「天照大御神の岩戸隠れ」や「天孫降臨」など神様の話や、「昔話」としても扱われている「因幡の白うさぎ」「須佐之男命の八岐

のオロチ退治」等、現実的ではない話がかかれていたため「神話」や「お伽話」として扱われている。

しかし、「古事記」を歴史書として読むと古代の阿波を舞台とした「高天原」と呼ばれる神山町を中心とした山間部と、「出雲」と言われる平野部での出来事として捉える事が出来る。

神山温泉の近くに鎮座する「上一宮大栗神社」の御祭神の「大宜都比売命」は、「須佐之男命」に食べ物を請われ、鼻、口、尻から出し奉じるが、汚いものを食べさせたとの怒りをかかって殺され、その死体から稲、粟、麦、大豆、小豆の五穀と蚕が生まれたとされる保食神として書かれ、「豊受大御神」と名

を変え伊勢神宮外宮でも祀られている。

平安時代の「官社」に指定された神社の一覧表である「延喜式神名帳」に記載されている事実から、神話とされる物語の舞台であったとする根拠とされている。

その他、石井町には長野県の諏訪大社の元宮である多祁御名方神を祀る多祁御奈刀弥神社。天照大御神がで天岩戸にお

隠れになったとされる天岩戸立岩神社で活躍された天手力男命が御祭神の佐那河内村の立岩神社。勝浦町には、えびす様とも呼ばれる事代主命が祀られる生夷神社など神話の舞台とされている神社が数多くある。

講師の三村先生は、「伊勢神宮には年間数百万人の参拝者がある。四国巡礼のあと高野山へ行くように、1%でも外宮の元宮である「上一宮大栗神社」へ来る

ようになったら数万の観光客を神山町へ呼び込む事が出来る。」と言われていた。

神社を宗教施設としてとらえるのでは無く、古代より阿波に暮らした人々が大切に守ってきた資源としてこれらの神社を観光客誘致に活かせるよう、勝名地区の議員が連携して活動しよう」と意見交換し散会した。

(佐出由恵)



勝名地区町村議会議員研修会

第35回

徳島県市町村 トップセミナーに参加して

平成30年1月31日公益財団法人徳島県市町村振興協会主催の下、県内市町村、市町村議会代表者が出席し神山町は、町長、議長、副議長、議会事務局長が参加し、同振興協会理事長の後藤町長が開講の挨拶をし開かれた。

講演①として、総務省自治行政局長、山崎重孝氏より「これからの地方自治体を巡る課題について」の演題で、一、少子高齢化と人口減少、二、国と地方の役割分担、三、持続可能な自治体運営の各項目で詳細な説明があり、今後の町政に生かされる課題が山積と感じた。

講演②は、伝説のカリスマ販売員、茂木久美子氏より「人の5倍売る技術〜テクニックより大切なもの〜」という演題

で、山形新幹線「つばさ」の内販売員での群を抜く売上が評価され「車内販売のカリスマ」としてテレビ

や新聞など様々なメディアで取り上げられ、自分らしさを活かした「おもてなし」接客術や人の5倍売れる販売の極意を実体験を交えて話があった。力強い行動力があり又、頑張りが頼もしい講演であった。
(中西富士男)



市町村トップセミナー



議会を傍聴しませんか！

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのかお確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越し下さい。定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせ下さい。

神山町議会事務局 TEL 676-1511 (IP2002)

神山の風景

90年間、広野と五反地を結ぶ橋として地域の人達に親しまれてきた阿野橋が3年間の工期を終え、3月17日に完成式を迎えた。

昭和4年に阿野橋が出来るまでは五反地から河口まで渡し舟で行き来していたそうで、五反地の川原には当時の面影を残す川灯台の役目をした灯籠が今も残っている。対岸の河口にあった灯籠は雨返神社の入口に鎮座している。

又完成式にあたり地元あすなる会、民生委員、広野チャレンジの方々もち投げイベントのもち作りをして完成式に華をそえた。



議会の動き

- 4月**
 - 6日 交通安全街頭キャンペーン
 - 9日 神山中学校入学式
 - 10日 広野小学校・神領小学校入学式
 - 11日 勝名地区町村議会議長会臨時総会
 - 13日 勝名地区町村監査委員連絡協議会臨時総会
 - 18日 議会広報委員会
- 5月**
 - 16～18日 勝名地区町村監査委員連絡協議会視察研修
 - 28～29日 町村議会議長・副議長研修会
 - 31日 戦没者追悼式
- 6月**
 - 中旬 議会運営委員会
 - 中旬～下旬 6月定例会



編集後記

桜の代表的な品種といえば、染井吉野ではないでしょうか。染井吉野が誕生したのは、江戸末期から明治初期にかけて江戸染井村の植木職人たちが作り出し、江戸染井村で生み出された桜ということで「染井吉野」となったそうです。「桜の木は、必ず寒い時間、冬という季節をすぎさないことには花は咲かない」長い人生のなかで、人はいつ花を咲かせることができるかわかりませんが、花を咲かせるためには、やっぱり苦労を経験し、努力を重ねる冬の時期が、必要だと思ふのです。いつもいつもが順風満帆ではないはずですから。そうした苦労の一つひとつが人生の年輪をつくり、その人を大きくして行くものでしょう。

(河野雅俊)